



日本実験動物技術者協会 関東支部  
平成18年度総会・第32回懇話会

プログラム

- テーマ 『実験動物技術者の現在とこれから』
- 会 期 2007年2月17日(土曜日)  
9:55～18:20 (受付開始:9:30～)
- 場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター  
国際交流棟 国際会議室  
レセプションホール
- 会 長 持田 慶司 (独)理化学研究所
- 委 員 江藤 智生 (財)実験動物中央研究所  
富田 利美 (株)ゼリアエコテック  
猪股 智夫 麻布大学  
大竹 俊男 慶應義塾大学  
佐竹 聖人 バイエルクロップサイエンス(株)  
伊藤 由広 関東第一サービス(株)  
川端 賢 萬有製薬(株)  
村越 等 (社)予防衛生協会  
小田 晃司 (株)田辺R&Dサービス  
加藤 めぐみ 三菱化学生命科学研究所

【事務局】

〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-1-1

理化学研究所 バイオリソースセンター 遺伝工学基盤技術室

日本実験動物技術者協会 第32回懇話会事務局

担当:持田 慶司

TEL: 029-836-9169 FAX: 029-836-9172 E-mail: jmochida@rtc.riken.jp

## 懇話会・総会参加の皆様へ

本懇話会へは、ノーネクタイ、カジュアルな服装でお越し下さい。皆様にリラックスした雰囲気の中で有意義な情報交換を行っていただきたく、軽装でのご参加を呼び掛けております。

当日はスタッフも軽装で対応を致しますので、どうぞご了承下さい。

皆様のご理解とご協力をお願い致します。

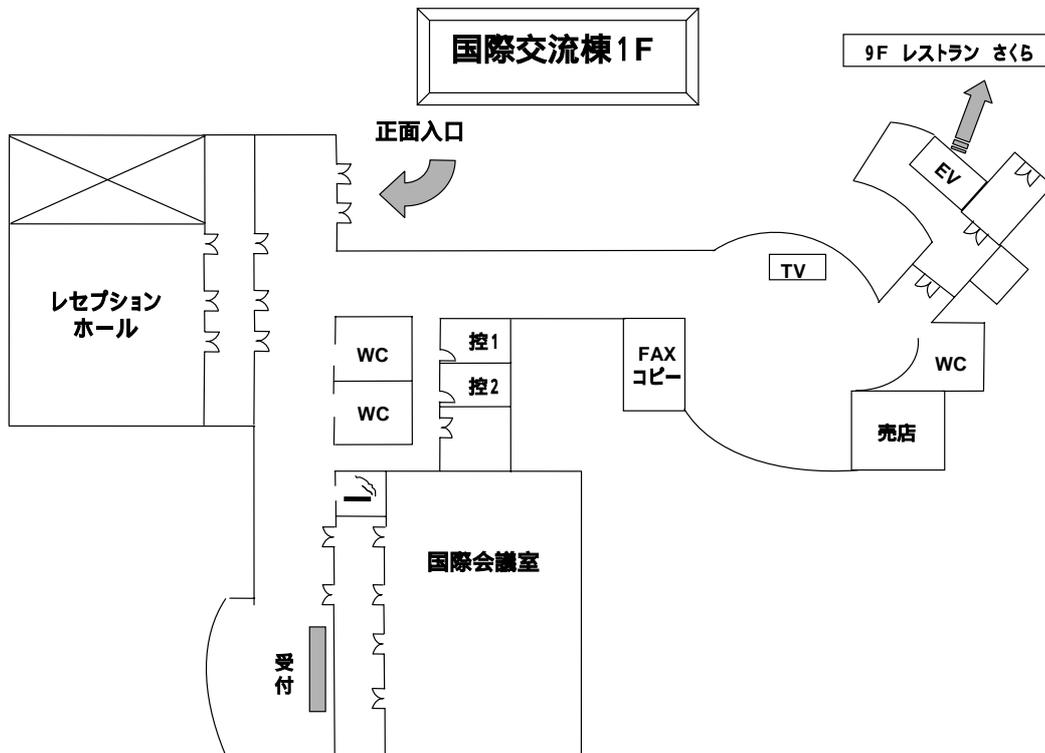
第32回懇話会会長 持田慶司



# タイムスケジュール

会場	9:30	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00
国際会議室	9:55 開会式	一般演題 口頭発表 (O-1~O-5)	特別講演 I 城石先生		ランチョン セミナー	総会
レセプション ホール						ポスター貼り 付け
国際会議室			一般演題 口頭発表 (O-6~O-10)	特別講演 II 若山先生		
レセプション ホール	一般演題 ポスター発表 (P-1~P-28) コーヒーブレイク				懇親会 (40周年記念技術者表彰、 ベストポスター賞表彰、 他)	

# 会場案内図



開会の辞 9:55 ~ 10:00

第32回懇話会会長 持田 慶司 ((独)理化学研究所 バイオリソースセンター)

一般演題 10:00 ~ 10:50

座長 池田 卓也 (日本チャールス・リバー(株))

O-01. webを利用した実験動物管理システムの開発と運用

小松輝夫<sup>1</sup>、安田将志<sup>1, 2</sup>、福島豊<sup>1, 2</sup>、茂木春菜<sup>1, 2</sup>、瀧ヶ平美里<sup>1</sup>、柳原五吉<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>国立がんセンター研究所 実験動物管理室、<sup>2</sup>(株)メルシャンクリンテック)

O-02. 技術者が関わる実験動物管理システム:バーコードの導入と運用

福島豊<sup>1, 2</sup>、小松輝夫<sup>1</sup>、安田将志<sup>1, 2</sup>、高木哲哉<sup>1, 2</sup>、瀧ヶ平美里<sup>1</sup>、柳原五吉<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>国立がんセンター研究所 実験動物管理室、<sup>2</sup>(株)メルシャンクリンテック)

O-03. 技術者のできる動物福祉への取り組み

安田将志<sup>1, 2</sup>、小松輝夫<sup>1</sup>、福島豊<sup>1, 2</sup>、高木哲哉<sup>1, 2</sup>、瀧ヶ平美里<sup>1</sup>、柳原五吉<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>国立がんセンター研究所 実験動物管理室、<sup>2</sup>(株)メルシャンクリンテック)

座長 笠井 一弘 ((有)リジヨイス)

O-04. 動物実験計画書稟議申請システム「Document Manager」の開発

倉持隆司<sup>1</sup>、荒木富雄<sup>1</sup>、喜田裕一郎<sup>1</sup>、佐藤俊哉<sup>2</sup>、横山峯介<sup>2</sup>、後藤元人<sup>1</sup>、新名谷  
典朗<sup>1</sup> (<sup>1</sup>(株)スポック、<sup>2</sup>新潟大学 脳研究所附属生命科学リソース研究センター)

O-05. 動物飼育施設での滅菌・消毒ガスとしての二酸化塩素発生法の検討

岩城隆昌 (東京慈恵会医科大学 実験動物研究施設)

特別講演 11:05 ~ 11:50

司会 朱宮 正剛 (元東京都老人総合研究所)

「生命システム理解のための動物実験と実験技術者の役割」

城石 俊彦 (国立遺伝学研究所)

ランチオンセミナー 12:20 ~ 13:20

司会 小田 晃司 ((株)田辺R&Dサービス)

『バイオリソース(マウス)の生産と供給』

「繁殖・生産体制について」

日本クレア(株)

「疾患モデル動物の特色と供給体制について」

日本チャールス・リバー(株)

「受託生産および受託試験について」

日本エスエルシー(株)

平成18年度総会 13:20～13:45

1. 開会
2. 議長選出
3. 平成18年度事業報告
4. 平成18年度会計報告
5. 平成18年度会計監査報告
6. 平成19年度事業計画
7. 平成19年度予算
8. 質疑応答
9. 閉会

教育講演 14:00～14:45 司会 中里 良治 (バイエルクロップサイエンス(株))

「実験用動物としてのゼブラフィッシュ」

岡本 仁 ((独)理化学研究所 脳科学総合研究センター)

ポスター発表 & コーヒーブレイク 15:00～16:20 (発表時間15:00-15:40)

セッション1:安全性試験・施設関連・微生物 座長 瀧澤 芳夫((財)残留農薬研究所)

P-01. あらためて発熱性物質試験を考える

村田龍介、宿野部和一、畔上二郎((財)食品薬品安全センター)

P-02. 自発運動量測定データの読み方についての一考察

森村智美((財)食品薬品安全センター)

P-03. 光触媒装置による実験動物施設のアンモニア除去効果

増田竜司<sup>1</sup>、松崎洋史<sup>1</sup>、霜田孝<sup>1</sup>、高山てる子<sup>1</sup>、内田忠義<sup>2</sup>、松木則夫<sup>3</sup>

(<sup>1</sup>日本無機(株),<sup>2</sup>(有)バイオナノクリーン,<sup>3</sup>東京大学大学院)

P-04. マウスの個体識別における付番マーカの検討

金澤真由美<sup>1</sup>、伊藤由広<sup>1</sup>、林俊昭<sup>1</sup>、須田昌憲<sup>1</sup>、関口富士男<sup>2</sup>、桑野昭<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>関東第一サービス(株)、<sup>2</sup>第一製薬(株))

P-05. 適正な動物実験を目指して:放射線照射用容器の開発と実用

高木哲哉<sup>1,2</sup>、小松輝夫<sup>1</sup>、福島豊<sup>1,2</sup>、安田将志<sup>1,2</sup>、柳原五吉<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>国立がんセンター研究所 実験動物管理室、<sup>2</sup>(株)メルシャンクリンテック)

P-06. マウス肝炎ウイルスの流行株分離の実例

山田靖子、田原口元子、座本綾、平井明香、滝本一広

(国立感染症研究所 動物管理室)

P-07. Helicobacter検査におけるmultiplex PCR法の試用

池郁生、小澤雅司、岡本裕行、梶田亜矢子、吉木淳

((独)理化学研究所 バイオリソースセンター 実験動物開発室)

- P-08. hSOD-1トランスジェニックマウスにおける臓器内 SOD-1 遺伝子発現の解析を目的としたリアルタイム PCR  
宮川佳彦<sup>1,3</sup>、山本一郎<sup>2</sup>、川角浩<sup>1</sup>、天尾弘実<sup>1</sup>  
(日本獣医生命科学大学<sup>1</sup> 実験動物学教室、<sup>2</sup>ハイテクリサーチセンター、<sup>3</sup>東京女子医大 実験動物中央施設)
- P-09. 演題取り消し
- P-10. フラグメント解析による2型糖尿病モデル *Lepr<sup>db</sup>* マウスの遺伝子型判定法の開発  
大美典子<sup>1,2</sup>、八木橋(吉田)千枝<sup>1,2</sup>、鬼頭千佳<sup>2</sup>、末水洋志<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>(株)ジェー・エー・シー、<sup>2</sup>(財)実験動物中央研究所)
- P-11. 臓器移植マーカーとしての形質転換ウサギの作製  
高橋利一<sup>1</sup>、倉持隆司<sup>1</sup>、袴田陽二<sup>2</sup>、小林英司<sup>2</sup>、上田正次<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>(株)ワイエス研究所、<sup>2</sup>自治医科大学)
- P-12. キメラマウスのキメリズムとgermline transmissionの関係について  
西岡千枝子<sup>1,2</sup>、辻亜希子<sup>1,2</sup>、荒井高<sup>1,2</sup>、根岸由紀<sup>1,2</sup>、小幡初江<sup>1,2</sup>、田中三佳<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>(独)理化学研究所 脳科学総合研究センター リサーチリソースセンター、<sup>2</sup>(財)脳科学・ライフテクノロジー研究所)
- P-13. カニクイザルES細胞へのリポフェクションによる遺伝子導入条件の最適化とstable transfectantの樹立  
岡田浩典<sup>1,3</sup>、下澤律浩<sup>1</sup>、羽鳥真功<sup>1,2</sup>、山海直<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>(独)医薬基盤研究所 霊長類医科学研究センター、<sup>2</sup>筑波大学大学院、<sup>3</sup>ヒューマンサイエンス財団)
- P-14. カニクイザルES細胞と胎児由来線維芽細胞の増殖様式の比較  
羽鳥真功<sup>1,2</sup>、岡田浩典<sup>1,3</sup>、下澤律浩<sup>1</sup>、山海直<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>(独)医薬基盤研究所 霊長類医科学研究センター、<sup>2</sup>筑波大学大学院、<sup>3</sup>ヒューマンサイエンス財団)

セッション3:生殖工学・凍結保存 座長 大塚 純((株)ヤクルト本社中央研究所)

- P-15. 顕微授精後のガラス化保存未受精卵子における受精能及び発生能について  
中村衣里<sup>1</sup>、多田昇弘<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>順天堂大学大学院 老人性疾患病態・治療研究センター、<sup>2</sup>アトピー疾患研究センター)
- P-16. 単為発生と顕微授精によるマウスおよびウサギガラス化未受精卵の発生能の評価  
遠藤圭介<sup>1,2,3</sup>、持田慶司<sup>1</sup>、大川美佳<sup>1</sup>、三木洋美<sup>1</sup>、柏崎直巳<sup>2</sup>、小倉淳郎<sup>1,3</sup>  
(<sup>1</sup>(独)理化学研究所 バイオリソースセンター、<sup>2</sup>麻布大学 獣医学部、<sup>3</sup>CREST)
- P-17. 低受精能を示すトランスジェニックマウスを用いたガラス化保存された透明帯穿孔卵子の体外受精と実用化  
安齋政幸<sup>1</sup>、宮地志織<sup>2</sup>、森田真裕<sup>2</sup>、柳美穂<sup>3</sup>、中島竜之<sup>3</sup>、金子武人<sup>4</sup>、松本和也<sup>1,2</sup>、中瀧直己<sup>4</sup>、入谷明<sup>1</sup>  
(近畿大学 <sup>1</sup>先端技術総合研究所、<sup>2</sup>生物理工学部、<sup>3</sup>アーク・リソース(株)、<sup>4</sup>熊本大学 CARD 資源開発分野)
- P-18. 理研BRCにおける自然交配由来胚の利用について  
宮崎史恵<sup>1</sup>、持田慶司<sup>2</sup>、藤田麻衣子<sup>1</sup>、小木曾彩<sup>1</sup>、大川美佳<sup>1</sup>、小貫克也<sup>1</sup>、高島梨香<sup>1</sup>、藤本裕子<sup>1</sup>、平岩典子<sup>1</sup>、吉木淳<sup>1</sup>、小倉淳郎<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>(独)理化学研究所 バイオリソースセンター <sup>1</sup>実験動物開発室、<sup>2</sup>遺伝工学基盤技術室)
- P-19. マウス胚盤胞の効率的な作製方法の検討  
遠藤圭子<sup>1,2</sup>、日置恭司<sup>1</sup>、伊藤守<sup>1</sup>、江藤智生<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>(財)実験動物中央研究所 動物資源開発部、<sup>2</sup>(株)ジェー・イー・シー)
- P-20. ガラス化加温胚の低温保存温度の検討  
佐藤晃<sup>1,2</sup>、日置恭司<sup>1</sup>、伊藤守<sup>1</sup>、江藤智生<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>(財)実験動物中央研究所 動物資源開発部、<sup>2</sup>(株)ジェー・イー・シー)

セッション4:繁殖・生殖工学・凍結保存 座長 上迫 努((財)実験動物中央研究所)

- P-21. 日本白色種ウサギにおける繁殖成績の季節変動  
山下真希子<sup>1</sup>、奥田泰士<sup>1</sup>、飯田三郎<sup>2</sup>、上條信一<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>三菱化学生命科学研究所、<sup>2</sup>会津実験動物)
- P-22. 傾斜ケージによるマウス疾患モデル系統の繁殖成績の改善  
高野薫<sup>1</sup>、小浦美奈子<sup>1</sup>、野口洋子<sup>1</sup>、梶本健吾<sup>2</sup>、松田潤一郎<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>(独)医薬基盤研究所 実験動物開発研究室、<sup>2</sup>(株)ケーエーシー)
- P-23. 理研BRCにおける帝王切開後の里親系統の検討  
目加田京子、平岩典子、田中ちひろ、横田康広、目加田和之、吉木淳  
(独)理化学研究所 バイオリソースセンター 実験動物開発室)
- P-24. 理研BRCにおける卵巣移植を用いた突然変異系統の維持  
藤本裕子、平岩典子、小林めぐみ、目加田京子、新井富士美、吉木淳  
(独)理化学研究所 バイオリソースセンター 実験動物開発室)
- P-25. 成熟マウス卵巣のガラス化凍結保存  
羽仁俊夫、立部貴典、新谷参郎、鎌田宣夫、上田乙也、寺社下浩一  
(株)中外医科学研究所)
- P-26. マウス体外受精における雄の週齢と受精率の関連性について  
藤田麻衣子<sup>1</sup>、持田慶司<sup>2</sup>、宮崎史恵<sup>1</sup>、大川美佳<sup>1</sup>、小木曾彩<sup>1</sup>、高島梨香<sup>1</sup>、  
横山ちひろ<sup>1</sup>、平岩典子<sup>1</sup>、吉木淳<sup>1</sup>、小倉淳郎<sup>2</sup>  
(独)理化学研究所 バイオリソースセンター <sup>1</sup>実験動物開発室、<sup>2</sup>遺伝工学基盤技術室)
- P-27. 凍結精子をもちいたC57BL/6Jの体外受精率安定化の試み  
田熊究一<sup>1,2</sup>、鈴木智草<sup>1</sup>、尾崎藍<sup>1</sup>、中村千佳<sup>1</sup>、蜂巢明子<sup>1,2</sup>、金田秀貴<sup>1</sup>、  
若菜茂晴<sup>1</sup>、城石俊彦<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>(独)理化学研究所 GSCゲノム機能情報研究グループ)、<sup>2</sup>(株)ジェー・エー・シー)
- P-28. アナウサギ(ダッチ種)精子の化学組成培地を用いた凍結保存の試み  
松尾美奈、奥田泰士、山下真希子、上條信一  
(三菱化学生命科学研究所)

一般演題 16:30～17:20

座長 多田 昇弘 (順天堂大学)

- 06. 絶滅した *bactrianus* 亜種由来野生マウス系統の凍結精子を用いた復元の試み  
山本博美<sup>1,2</sup>、水品洋一<sup>1</sup>、山谷宣子<sup>1,2</sup>、田村勝<sup>1</sup>、城石俊彦<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup> 国立遺伝学研究所 哺乳動物遺伝研究室、<sup>2</sup> (株)ジェー・エー・シー)
- 07. マウス亜種間コンソミック系統凍結胚の融解移植成績の検討  
岡垣郁香<sup>1,2</sup>、山谷宣子<sup>1,2</sup>、三田旻彦<sup>1</sup>、高田豊行<sup>1</sup>、田村勝<sup>1</sup>、城石俊彦<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup> 国立遺伝学研究所 哺乳動物遺伝研究室、<sup>2</sup> (株)ジェー・エー・シー)
- 08. ラット精巣上体精子の液状保存  
奥田泰士、松尾美奈、山下真希子、上條信一  
(三菱化学生命科学研究所)

座長 鬼頭 靖司 ((独)放射線医学総合研究所)

- 09. 幼若期ラットを用いた過剰排卵処置の検討  
江藤智生<sup>1</sup>、上迫努<sup>1</sup>、山田武史<sup>1,2</sup>、伊藤守<sup>1</sup>、日置恭司<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup> (財)実験動物中央研究所、<sup>2</sup> (株)ジェー・エー・シー)
- 10. SPFウサギの基礎データ - Kbl:JWとKbl:NZWの哺育仔の成長 その2 -  
畠中周作 松井ひとみ 酒井文一 相原丈洋 竹入修二  
(北山ラベス(株) 箕輪生産場)

特別講演 17:30～18:15 司会 小倉 淳郎  
( (独)理化学研究所 バイオリソースセンター )

「独創性と創造性への第一歩:クローンマウスを創るにはナニが必要？」  
若山 照彦 ( (独)理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター )

閉会の辞 18:15～18:20 関東支部支部長  
上條 信一 (三菱化学生命科学研究所)

懇親会 18:30～20:30

- ・ 40周年記念特別表彰:実験動物技術者表彰
- ・ ベストポスター賞の発表および表彰

## 参加者へのご案内

### 1. 参加者の方へ

#### 懇話会参加費（講演要旨集代を含む）

会員 3,000円、非会員 5,000円、学生 2,000円

#### 受付

- ・ 参加受付は当日の9:30より、国際会議室前の受付にて行います。
- ・ 参加費を納入して講演要旨集と参加章を受け取り、参加章へ所属と氏名をご記入の上、ネームフォルダに入れ、ご着用下さい。  
(ネームフォルダはお帰りの際に受付までご返却下さい。)

#### 懇親会（18:30-20:30、レセプションホール）

- ・ 参加費は一律 3,500円です。受付にてお申し込み下さい。
- ・ どなたでもお気軽にご参加下さい。
- ・ ポスター会場と同じ場所で行います。ポスターを眺めながらご歓談下さい。
- ・ ベストポスター賞の発表・表彰および本部40周年記念技術者表彰受賞者の紹介を予定しております。

#### ランチョンセミナー（12:20-13:20、国際会議室）

- ・ どなたでもご参加いただけます。
- ・ 当日の朝、先着順にてお弁当を無料配布するための引換券をお渡し致します。お弁当の数に限りがありますので、希望される方は早いうちにお申し込み下さい。
- ・ お弁当は12:00に引換券と交換でお渡し致します。
- ・ 昼食は9Fの「レストラン さくら」(P・2案内 図参照)なども御利用いただけます。

#### コーヒーブレイク（15:00-16:20、レセプションホール）

- ・ ポスター会場横にてコーヒー・紅茶・お菓子のサービスを致します。ご利用下さい。
- ・ 飲食はホール内のみでお願い致します。

#### ベストポスター賞の投票（15:30-16:30、レセプションホール）

- ・ 講演要旨に挟んである投票用紙に、分かり易く綺麗なポスターを一つ選んで演題番号と、ご自身の名前と所属を記入し、ポスター会場の入口の回収ボックスへ投票下さいますようお願い致します。
- ・ ベストポスター賞は懇親会で発表し、賞品をお渡し致します。
- ・ 投票者へも賞品が当たりますので、是非ご協力下さい。

## 建物内の施設等について

売店、FAX・コピー・郵便：営業中であればご利用いただけます。

クローク：設置しておりません。遺失物については責任を負いかねますのでご自身で管理をお願い致します。

喫煙：喫煙室をご利用下さい。

## 席について

- ・ 満席となることも考えられますので、お荷物は隣の席に置かないようお願い致します。
- ・ 席を外す際には、席取りのために荷物を残されないようお願い致します。

## 2. 特別講演・教育講演・ランチョンセミナーの講演者の方へ

- ・ コンピューターおよびプロジェクターは会場で用意しておりますが、動画など不具合が生じる場合もありますので、ご自身のPCを持参していただいても結構です。
- ・ PCを持参される場合、コネクタを必要とする際には合わせてご持参下さい。
- ・ お持込いただけるメディアはUSBフラッシュメモリーまたはCD-Rのみと致します。
- ・ PCの動作確認につきましては、立会いをお願い致します。

## 3. 一般演題(口頭発表)の演者の方へ

- ・ 発表時間は、発表8分、質疑応答2分の合計10分以内でお願い致します。
- ・ 発表はPCをご利用下さい(上の項目2を参考にして下さい)。
- ・ PCもしくはUSBフラッシュメモリー、CD-Rのいずれかをご持参下さい。
- ・ 念のため、別のタイプのバックアップデータもご持参下さい。
- ・ 午前中の演題は9:40まで、午後の演題は16:10までに受付をお願い致します。
- ・ 次演者の方は、講演10分前までに次演者席にお着き下さい。

## 4. 一般演題(ポスター発表)の演者の方へ

ポスター貼り付け：(時間：13:00-14:00、於：レセプションホール)

- ・ ポスター用パネルの大きさは横90cm×高さ180cmです(次頁の図参照)。  
(パネル最下部は文字が読み難いので、高さは150cmを目安に作成して下さい)
- ・ 演題番号はこちらで用意します。  
左上端の横20cm×高さ15cmのスペースを空けて下さい。
- ・ ポスター上部には演題名、氏名、所属をご記入下さい。
- ・ 本文の文字は、2m程離れた距離でも読み取れる大きさにして下さい。
- ・ 画鋲はこちらで用意致します。発表会場でお受け取り下さい。

## プレゼンテーション:

(発表時間:15:00-16:00、

フリーディスカッション~16:20)

- ・各セッションごとに座長(司会)が付きます。
- ・演題順に、プレゼンテーション(説明)3分、質疑応答2分の合計5分以内でご発表をお願いします(時間厳守のこと)。
- ・発表者はご自身のポスターの前で待機して下さい。
- ・プレゼンテーション終了後はフリーディスカッションとなります。興味を持たれた方へご説明下さい。
- ・発表の合間などには、コーヒープレークをお楽しみ下さい。

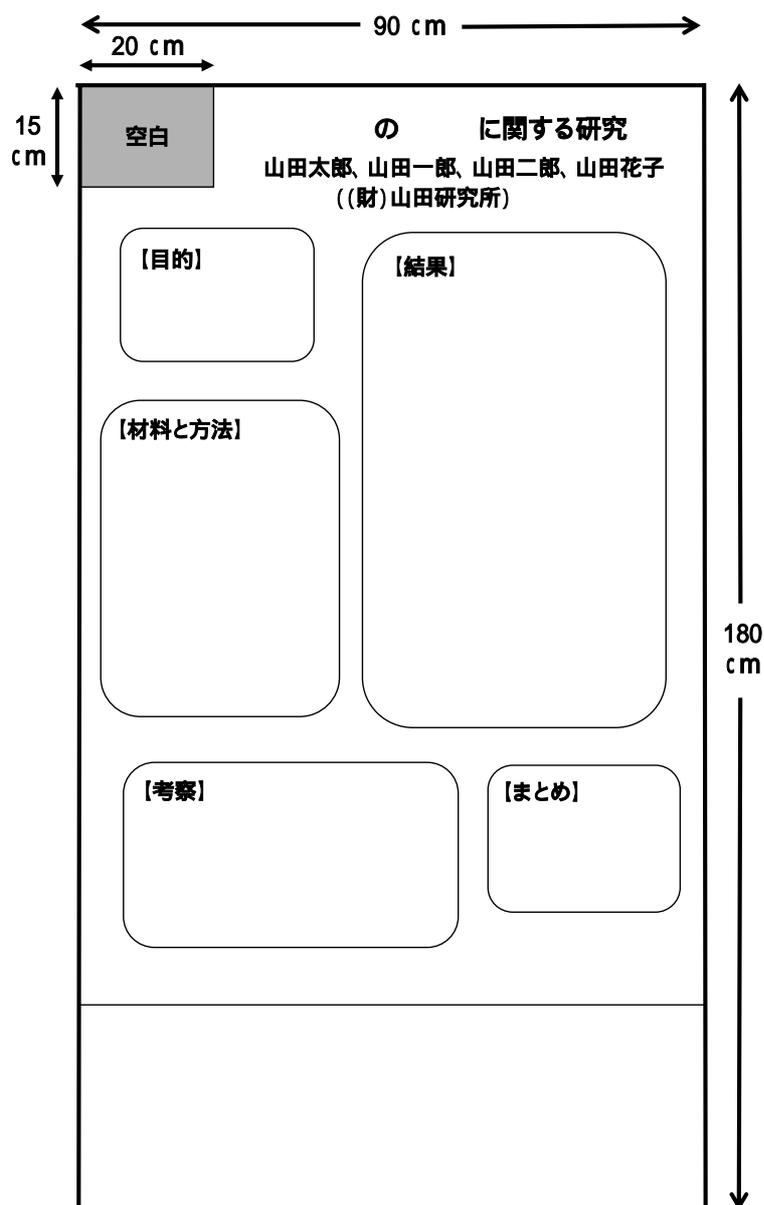
ベストポスター賞の発表と表彰

- ・一位の方には賞品を用意しております。
- ・発表は懇親会の中で行います。懇親会の場に演者が不在の場合は第二位の方に権利が移りますので、出来るだけご参加下さい。(共同演者の方でもOKです)

ポスターの撤去:(17:30-20:40)

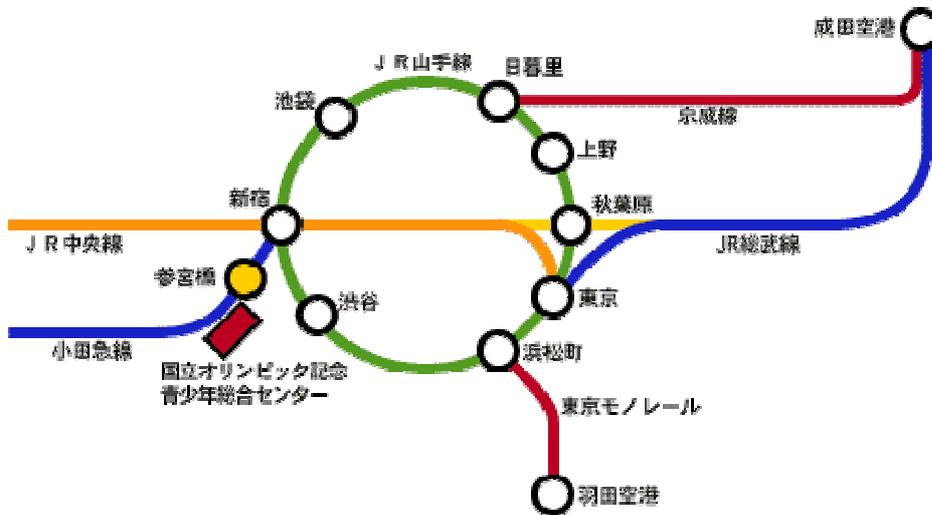
- ・発表者へお願いです。ポスター発表の会場が懇親会の会場となります。懇親会の間もポスターを貼っておいていただくと、意見交換ができると思いますので、できるだけ懇親会終了後にポスターの撤去をお願い致します。
- ・20:40以降はこちらで強制的に撤去し、処分する場合がありますのでご注意下さい。

## 《ポスターの作成要領・例》



## 国立オリンピック記念青少年総合センターへのアクセス

会場への連絡先 : TEL : 03-3467-7201    <http://nyc.niye.go.jp/>



**小田急線**  
各駅停車で参宮橋駅(新宿から3分)下車、  
徒歩約7分

**地下鉄千代田線**  
代々木公園駅下車、4番出口利用。徒歩約10分

**京王バス**  
新宿駅西口(16番)より 代々木5丁目下車  
渋谷駅西口(14番)より 代々木5丁目下車



※赤線は、参宮橋駅からの歩道橋を使った経路です。  
青線は、参宮橋駅からの横断歩道を使った経路です。

